

**〔長久手市行政評価票：平成23年度業務〕**

担当課・係名		消防本部総務課 庶務係【問合せ先(電話・内線番号)62-3001】																																																	
第5次総合計画掲載		基本方針 3人がいきいきとつながるまち 基本施策 3-10 住民を守る消防・救急サービスを充実する																																																	
業務の名称		職員教育関係業務																																																	
(1)根拠法令・条例																																																			
(2)業務期間		開始した年度	平成23年度	終了(予定)年度	平成23年度																																														
(3)業務概要	職員の平成23年度消防学校等研修計画に基づき、愛知県消防学校及び救急救命士養成所に入校させ職員教養を行う。 消防職員に自動車大型技能講習を受講させ、緊急時の安全運転技能を向上させる。 また、平成24年度消防学校等研修計画等を作成し、予算要求の根拠資料として活用する。			国・県・民間と類似した事業、他市町の実施の状況 消防機関																																															
	(4)業務の目的と指標		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象指標</th> <th colspan="3">状態を表す指標</th> <th rowspan="2">単位</th> </tr> <tr> <th>ア</th> <th>イ</th> <th>ウ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">①対象(誰、何を対象としているか) 消防学校等入校計画(消防職員) 救急救命士養成計画 大型自動車技能講習計画</td> <td>ア</td> <td>消防学校等入校者</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>救急救命士養成所入所者</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td>大型自動車技能講習受講者</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">②手段(どのような事業で)※実施した活動 愛知県消防学校入校 (初任科3人・救急科3人・救助科1人・初級幹部科1人・はしご自動車等運用科1人・火災調査科1人・外傷、災害対応講習1人) 名古屋市救急救命士養成所入所 1人 大型自動車技能講習受講 2人</td> <td>ア</td> <td>愛知県消防学校入校</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>名古屋市救急救命士養成所入所</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td>大型自動車技能講習</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">③意図(対象をどのような状態にしたいか) 消防職員を定期的に研修させる。</td> <td>ア</td> <td>入校者数/計画人数</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>入所者数/計画人数</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td>受講者数/計画人数</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">④成果指標設定の理由</td> <td colspan="5">消防学校等入校計画の実施の割合を指標とする。</td> </tr> </tbody> </table>					対象指標	状態を表す指標			単位	ア	イ	ウ	①対象(誰、何を対象としているか) 消防学校等入校計画(消防職員) 救急救命士養成計画 大型自動車技能講習計画	ア	消防学校等入校者	人	イ	救急救命士養成所入所者	人	ウ	大型自動車技能講習受講者	人	②手段(どのような事業で)※実施した活動 愛知県消防学校入校 (初任科3人・救急科3人・救助科1人・初級幹部科1人・はしご自動車等運用科1人・火災調査科1人・外傷、災害対応講習1人) 名古屋市救急救命士養成所入所 1人 大型自動車技能講習受講 2人	ア	愛知県消防学校入校	人	イ	名古屋市救急救命士養成所入所	人	ウ	大型自動車技能講習	人	③意図(対象をどのような状態にしたいか) 消防職員を定期的に研修させる。	ア	入校者数/計画人数	%	イ	入所者数/計画人数	%	ウ	受講者数/計画人数	%	④成果指標設定の理由		消防学校等入校計画の実施の割合を指標とする。			
対象指標	状態を表す指標			単位																																															
	ア	イ	ウ																																																
①対象(誰、何を対象としているか) 消防学校等入校計画(消防職員) 救急救命士養成計画 大型自動車技能講習計画	ア	消防学校等入校者	人																																																
	イ	救急救命士養成所入所者	人																																																
	ウ	大型自動車技能講習受講者	人																																																
②手段(どのような事業で)※実施した活動 愛知県消防学校入校 (初任科3人・救急科3人・救助科1人・初級幹部科1人・はしご自動車等運用科1人・火災調査科1人・外傷、災害対応講習1人) 名古屋市救急救命士養成所入所 1人 大型自動車技能講習受講 2人	ア	愛知県消防学校入校	人																																																
	イ	名古屋市救急救命士養成所入所	人																																																
	ウ	大型自動車技能講習	人																																																
③意図(対象をどのような状態にしたいか) 消防職員を定期的に研修させる。	ア	入校者数/計画人数	%																																																
	イ	入所者数/計画人数	%																																																
	ウ	受講者数/計画人数	%																																																
④成果指標設定の理由		消防学校等入校計画の実施の割合を指標とする。																																																	
(5)指標の推移	①対象指標	ア	人	11	9	11	11	11																																											
		イ	人	0	1	1	1	0																																											
		ウ	人	3	3	3	3	3																																											
	②活動指標	ア	人	11	9	11	11	11																																											
		イ	人	0	1	1	1	0																																											
		ウ	人	3	3	3	2	3																																											
	③成果指標	ア	%	100	100	100	100	100																																											
		イ	%	100	100	100	100	100																																											
		ウ	%	100	100	100	66.66	100																																											
	(6)事業費の推移	事業費		千円		3,169	2,722	3,132	1,634																																										
うち		国費	千円																																																
		県費	千円																																																
		一般財源	千円																																																
		受益者負担	千円																																																
延職員数(臨職)		人		-	-	0.12	-																																												
(7)遂行上の問題点、取組課題(箇条書きで簡潔に記載)																																																			
消防学校の入校は、長期間入校するため職員の人数確保(出勤体制等)が困難な場合が発生する。																																																			
(8)評価	必要性	A	消防職員の教育には、不可欠である。					総合評価 <b>A</b>																																											
	有効性	A	職員の技術向上																																																
	効率性	A																																																	
(9)今後の改善の方針	(何を) 研修計画 (いつまでに) 平成25年度 (どのような方法で) 長期研修計画を作成して、教育計画を見直す。																																																		

行政評価チェックリスト

	市が関与することは妥当か		該当
必要性	① 法律で実施が義務づけられている事業		<input type="checkbox"/>
	② 受益の範囲が不特定多数の住民に及び、財・サービスの対価の徴収ができない事業		<input type="checkbox"/>
	③ 住民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		<input type="checkbox"/>
	④ 住民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは住民の不安を解消するために、必要な規制、監視指導、情報提供、相談などを目的とした事業		<input type="checkbox"/>
	⑤ 個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網（セーフティ・ネット）を整備することを目的とした事業		<input type="checkbox"/>
	⑥ 住民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		<input type="checkbox"/>
	⑦ 民間のサービスだけでは市域全体にとって望ましい質、量のサービスの確保ができないため、これを補完・先導する事業		<input type="checkbox"/>
	⑧ 市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業		<input type="checkbox"/>
	⑨ 特定の住民や団体を対象としたサービスであって、サービスの提供を通じて、対象者以外の第三者にも受益がおよぶ事業		<input type="checkbox"/>
	⑩ 内部管理事務		<input checked="" type="checkbox"/>
事業内容は適切か	関連項目	該当	
⑪ 事業開始時の目的を概ね達成するなど、実施意義が低下している。 （長年実施している事業、対象数が減少している事業）	(2)、(5)①	<input type="checkbox"/>	
⑫ 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化し実施意義が低下している。 （目的の設定が現状にあっていない）	(4)	<input type="checkbox"/>	
⑬ 対象者、利用者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 （事業実績が前年と比べ低下している事業）	(5)②	<input type="checkbox"/>	
⑭ 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 （当初計画・予算などと比較して実績等が少ない事業）	(5)②	<input type="checkbox"/>	
⑮ 国や他市町と比較してサービス対象や水準を見直す余地がある。 （他市町で廃止された、他市町と比べ供給量が多い事業）	(3)	<input type="checkbox"/>	
重複した事業が実施されていないか		該当	
① 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。		<input type="checkbox"/>	
② 国や県のサービスと重複している		<input type="checkbox"/>	
③ 民間のサービスと重複している		<input type="checkbox"/>	
事業の成果はあがっているか	関連項目	該当	
④ 施策の目的達成のため、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 （成果実績向上につながる事業方法が他にない）	(4)、(5)	<input type="checkbox"/>	
⑤ 市の施策への貢献度が高いとはいえない。 （目標設定が適切でない、成果実績と目標が大きく乖離している）	(5)	<input type="checkbox"/>	
⑥ 事業を継続しても成果の向上が期待できない。 （成果指標の実績が前年から向上していない事業）	(5)③	<input type="checkbox"/>	
⑦ 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	(4)	<input type="checkbox"/>	
実施主体は適切か		該当	
① 民間事業者、NPO法人、住民団体等を活用しても市民サービスが低下しな		<input type="checkbox"/>	
② 民間事業者、NPO法人、住民団体等を活用するとコストの低減が期待でき		<input type="checkbox"/>	
③ 民間事業者、NPO法人、住民団体等が持つノウハウ等を活用できる。		<input type="checkbox"/>	
コスト改善の余地はあるか	関連項目	該当	
④ 人件費の見直しにより、コストを下げる余地がある。 （臨時職員の活用などで人件費を下げられる）	(6)	<input type="checkbox"/>	
⑤ 業務内容の見直しにより、コストを下げる余地がある。 （業務内容、委託内容の精査により業務量削減がはかれる）	(3)、(6)	<input type="checkbox"/>	
⑥ 事務改善によりコストを下げる余地がある。 （作業の簡素化などにより時間や無駄を省ける）	(3)、(6)	<input type="checkbox"/>	
⑦ 受益者負担に改善の余地がある。 （受益者負担＝受益者が負担すべき費用となっていない）	(6)	<input type="checkbox"/>	